

科目名 (科目番号)	卒業研究 (102792)	教員名	臨床検査学科 教員	学科等	臨床検査	選択	履修年次	4
				曜日・時限等	時間割表参照	単位数	4	
				オフィスアワー		各担当教員シラバス参照		
授業概要	将来、臨床現場で遭遇する様々な問題に対処できるように、卒業研究の調査・実験・分析・解析・考察などを通して、問題解決能力に係わる基本的知識、技能、態度を修得する。従って、研究目的に沿った実験手順を作成する。計画に沿って、正しく実験、調査する。得られた実験結果を適切に解釈する。調査研究に必要な文献を検索する、などの能力を習得する。研究結果を、適切な方法で社会へ公表することができることを目指す。							
準備学習								
授業計画	授業項目	到達目標・学習内容						
	<p>到達目標： 卒業研究を実施すること、すなわち研究としての理論構築、実験、調査などの実施により、自ら問題点を発見し、探求し、解決する能力を養う。具体的には、①研究テーマを設定できること、②研究仮説を設定できること、③研究計画書を作成して研究を遂行できること、④研究成果の整理ができること、⑤データ解析において統計処理を行うことができること、⑥研究論文の形式にまとめることができること、そして⑦研究発表を行うことができるようになることを目標とする。</p> <p>学習内容： 学生がこれまで学んできた臨床検査の知識と技術を考慮して、担当指導教員と学生が十分に相談して研究テーマを決定する。テーマに関する国内外の文献を講読した後、担当指導教員の指導により研究目的を設定して、研究計画を立案する。自主的に卒業研究を実施し、得られた研究成果を総括して、考察を加えて結論を得る。指導教員は、得られた研究成果の解釈および考察において助言を与えることで卒業研究を支援する。卒業研究をまとめてわかりやすく口頭発表ができるための指導、研究の概要を抄録としてまとめるための指導、論文を作成するための指導を受ける。</p> <p>2019年度卒業研究テーマ(予定)一覧： ①睡眠負債に関する研究、②体腔液の比重測定法の開発、③予防接種とその効果についての調査・考察、④mTORシグナル経路の分子検討、⑤ペットボトルを用いたトレーニングが呼吸機能に及ぼす効果について、⑥レニン-アンジオテンシン-アルドステロン-システムの生物学的進化についての文献的解析、⑦つくば国際大学学生の学期末試験前後におけるストレスの有無の検討、⑧薬剤耐性菌について、⑨プロテイン銀の独自開発、⑩鉄ヘマトキシリン液作製法の検討、⑪ビクトリア青染色液改良法の検討、⑫超生体染色、酵素染色における血球の保存法検討、⑬筋芽細胞から筋管細胞への分化条件検討、⑭好中球顆粒染色の検討。</p>							
成績評価の方法・基準	卒業研究論文および卒業研究発表への自主的な取り組みなどを総合的に評価する。							
教科書	指導教員の指示による。							
参考図書								
教員からのメッセージ	これまで学んできた臨床検査に関する知識や技術を総合的に発展させるためには、自己学習により自主的に疑問点を解決する努力が必要となります。							